

オントロジーを用いた社会福祉サービス検索システムの構築

瀬田研究室 1131100144 宗田卓史

～人間を支援することのむずかしさ～

情報の複雑性

関わる立場の多様性

利用者, 支援者, 家族, 研究者, 政治家など

支援領域の多様性

医学, 教育, 日常生活, 就労, 心理など

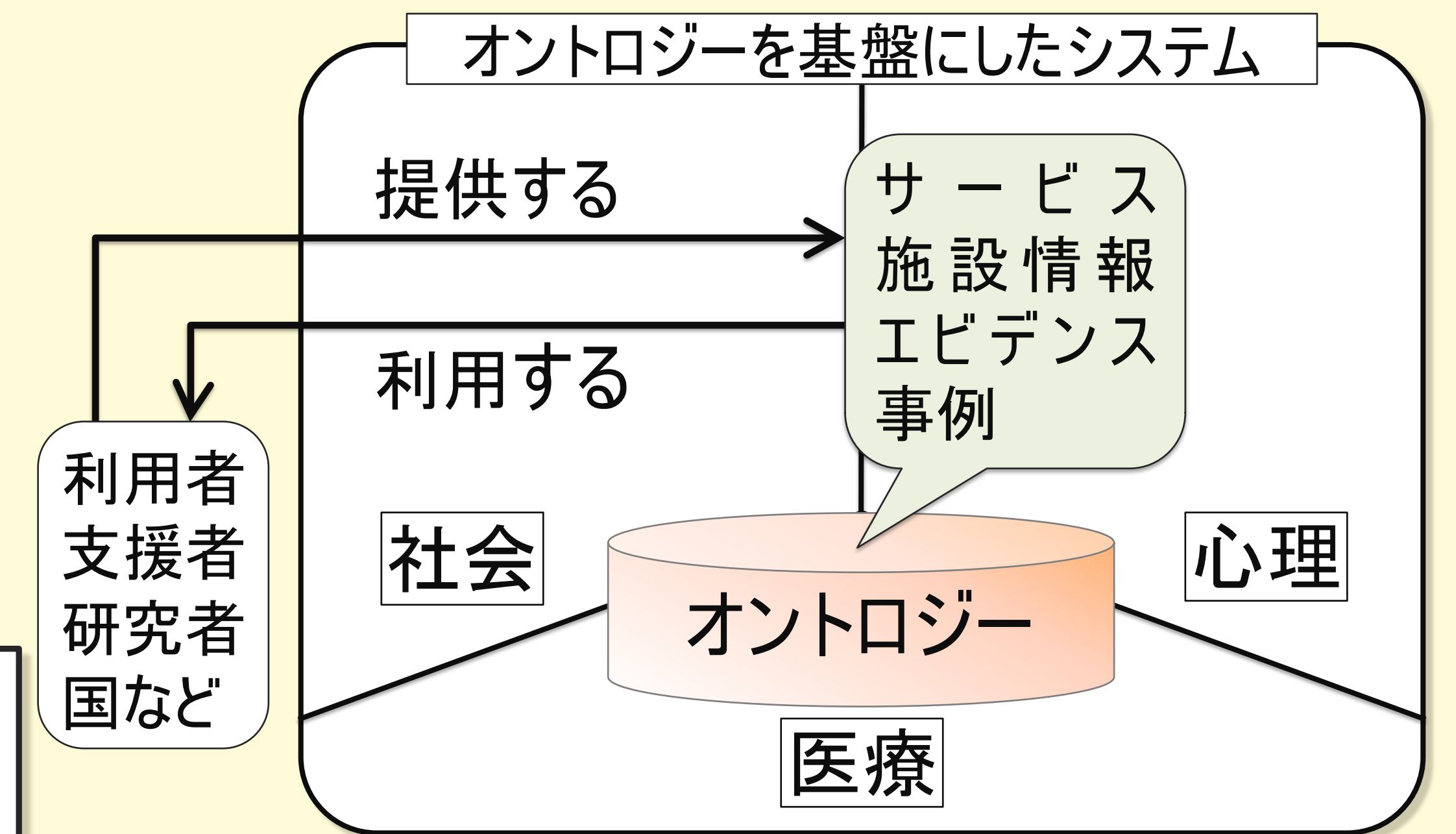
情報共有の基盤の不在

存在するサービスが利用者に伝わらないなど

例(視覚障害者の支援)

おもに日常生活支援と就労支援の連携が必要
→しかし、支援者間の情報共有はできていない

オントロジー導入



- ・さまざまな立場の人が利用できるシステム
- ・多領域にまたがる支援
- ・つくる, つたえる, つかうプロセスの統合
- ・エビデンスに基づく支援
- ・拡張性と柔軟性のあるシステム

目的

専門外の人に特に社会福祉サービスに関する情報が行き渡っていない

→社会福祉資源に関する情報のアクセシビリティの向上とユーザの主体的なサービス利用

手法

生活上の困難に基づいて適切な社会福祉サービスを検索する仕組み

→困難に基づくことで社会福祉に関する情報に詳しくない人でも簡易に調べられる

オントロジーやオープンデータ(OWL, LOD, RDFなどを使用)

対象者, 資源や施設の種類, 専門職などを厚生労働省の統計を参考に分類

対象者

施設の種類

Offers

社会福祉サービス

同行援護サービス

is-a

社会福祉オントロジー

クエリ

検索結果

Web検索システム
(HTML, JavaScript, SPARQLで実装)

困難検索

クエリ

サービス検索

検索結果

地方公共団体などが提供するLODやデータベース

実存する社会資源データ

提供する

地方公共団体など

困難検索・・・抱える生活上の困難に基づいてふさわしい社会福祉サービスの種類を特定
サービス検索(未実装)・・・指定されたサービスの種類を満たすような実存する社会福祉サービスを検索

生活上の困難を選択

改善点

- ・困難と社会福祉サービスが1対1で対応 付けられ, また推論規則をもたない
- ・オントロジーの整合性が低い
- ・対応付けが開発者のみで行われている

今後は・・・

- ・オントロジーにより多くの情報や整合性, 推論規則を保有させる
- ・ユーザや支援者, 福祉に関係する専門の人が共通してシステムに情報を提供できるアプリケーションの開発
→推論能力の向上と多領域にまたがる支援につながる